〔植探報 Vol. 6 : p83～86, 1990〕

I - 7 Collection of the Wild Tea (*Camellia sinensis* L.) around Mountainous Regions of Kumamoto and Miyazaki Prefectures in Japan, 1989

Atsushi NESUMI[1] and Naomasa SEKIYA[2]

1) *Laboratory of Tea Breeding, Kurume Branch of National Research Institute of Vegetables, Ornamental Plants and Tea*, Makurazaki, Kagoshima, Japan
2) *Laboratory of Breeding Materials for Tea and Greening Plants, Kurume Branch, National Research Institute of Vegetables, Ornamental Plants and Tea*, Makurazaki, Kagoshima, Japan

熊本県及び宮崎県山間部におけるヤマチャの収集，野菜・茶試，1989年

根角厚司[1]・関谷直正[2]

1）野菜・茶業試験場　久留米支場　茶樹育研
2）野菜・茶業試験場　久留米支場　育種素材研

1．目的

本州，九州及び四国地方の山間部には‘ヤマチャ’といわれる自生のチャがある。これらの中には香気に特徴のあるものが数多くあり，今後消費ニーズの多様化にともない新しいタイプのチャを模索していくうえで‘ヤマチャ’も利用していく必要がある。しかし，最近山間部の開発が進みこれらの遺伝資源が減少してきており収集保存が急務となっている。今回の収集はダム建設により水没する予定となっている熊本県球磨郡五木村と宮崎県の南部山間地域において‘ヤマチャ’を収集し保存する。

2．経過

‘ヤマチャ’は川のある谷間の斜面にあることが多いため収集には村役場や県の農業改良普及所のチャの担当者あるいは地元の農家の方に案内していただいた。収集は種子の充実した10月16，17日に行い種子とともに穂木も採集した。行動日程をTable 1に示す。収集した穂木は10月19日に二葉挿しをし，種子は冷蔵庫で保存し翌年1月17日にガラス室のポット内に播種した。

Table 1. The expedition program for collecting 'yamacha' in 1989
収 集 日 程 表

月 日	収 集 地	収集協力機関及び協力者
10.16	熊本県球磨郡五木村	熊本県球磨農業改良普及所 熊本県球磨農業研究所 五木村役場
10.17	宮崎県児湯郡西米良村	宮崎県西都農業改良普及所 中武 文蔵 氏 田爪 一旦 氏
	宮崎県東臼杵郡椎葉村	宮崎県西郷農業改良普及所 右田 安夫 氏 椎葉 亀則 氏

3．収集成果

穂木は1個体から1本，種子は充実したものをできるだけ多くの母樹から採集した。収集場所は近くに品種園が無いところを選び，熊本県球磨郡五木村では平瀬，小鶴，登谷，白岩戸の4地点，宮崎県児湯郡西米良村では村所の2地点，同東臼杵郡椎葉村では川の口と松尾の2地点で収集した。収集地点はTable 2およびFig. 1に示す。

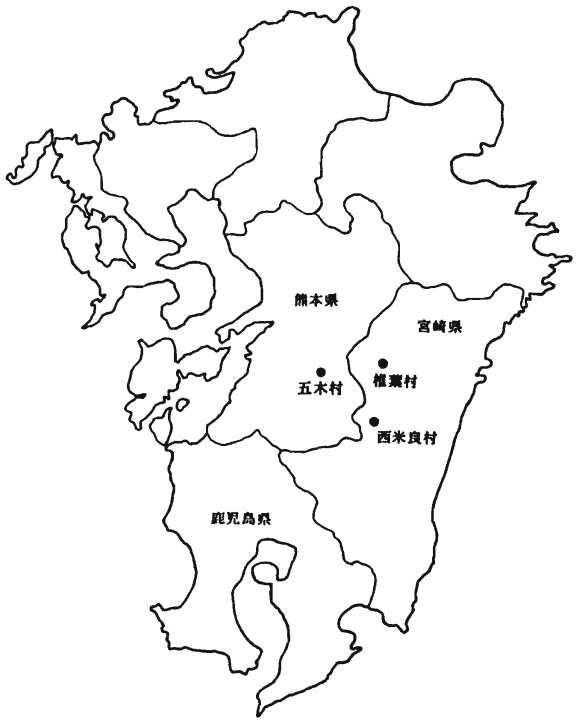

Fig. 1. Collection sites of 'yamacha', 1989.
'ヤマチャ'の収集地点

Table 2. Collection of 'yamacha' around south regions of Kumamoto and Miyazaki prefectures in Japan, 1989

収集材料記録表（熊本県・宮崎県，茶，1989）

収集番号	作物名	属　種　名	収集月日	収　集　地　点
89－1	チャ	*Camellia sinensis*	10.16	熊本県球磨郡五木村　平瀬
89－2	〃	〃	〃	〃　小鶴
89－3	〃	〃	〃	〃　登谷
89－4	〃	〃	〃	〃　白岩戸
89－5	〃	〃	10.17	宮崎県児湯郡西米良村　村所1
89－6	〃	〃	〃	〃　村所2
89－7	〃	〃	〃	〃　東臼杵郡椎葉村　川の口
89－8	〃	〃	〃	〃　松尾

収集番号	採穂数	採果数	播種数
89－1	21	0	0
89－2	139	53	90
89－3	158	216	435
89－4	118	20	39
89－5	217	13	26
89－6	270	79	162
89－7	320	467	791
89－8	126	546	1057
合　計	1379	1394	2600

4．収集材料の今後の処置

収集した‘ヤマチャ’の穂及び種子はビニールトンネルをした挿床及びガラス室内で育苗した後ほ場に移し一次特性及び二次特性を調査する。特徴あるもの及び品質の優れたものは育種素材として供試するため保存園に移植し保存する。

5．所感

‘ヤマチャ’は河川のある谷間の斜面に自生していることが多く，現在人里離れている所でもかつては人が住んだのではないかと思わせるような所にあることが多い。これが‘ヤマチャ’の伝来説をとる人のひとつの論拠となっているが，今回探索した数地点でも古代人が住んでいたのではないかと思われる所と‘ヤマチャ’の自生地とはかなりよく一致するように思われた。しかし，現在‘ヤマチャ’が自生している所はチャが生育するための適地であり，不適地では淘汰された結果そのような場所に残ったという考え方もあり，‘ヤマチャ’が伝来したものか，あるいはもともと自生していたものであるのかはここで言及することはできない。‘ヤ

マチャ'は日本のかなり広範囲に分布しているが，まだ調査されていないところも多いので今後どのような所に自生しており，またどのくらい変異があるのかということも調査する必要があるように思われた。

今回'ヤマチャ'を収集するにあたってこころよく案内を引き受けてくださった皆様に心から感謝する。

Summary

The expedition for collecting 'yamacha' (*Camellia sinesis* L.) around the south regions of Kumamoto and Miyazaki prefectures was carried out on October 16 and 17, 1989.

This program was shown in Table 1 and the collection localities of 'yamacha' were shown in Fig. 1 and Table 2. 'Yamacha', which is a Japanese wild tea, can be found throughout the mountainous regions in Honshu, Kyusyu and Sikoku districts. There are two hypotheses regarding the origin of 'yamacha'. One is the introduction from mainland of China, and the other is a Japanese origin. It seems that 'yamacha' has some useful characteristics on flavor, cold hardiness, insect resistance and disease resistance, because they have grown in specific points of each region for a great many years. We have experimented to use 'yamacha' for tea breeding for a long time. We have to make an expedition for collecting 'yamacha' still more, because it has not be fully collected and examined. Scions and seeds of 'yamacha' collected will be brought up in field for several years after grown in propagation bed or in pots for one or two years. Then, they will be selected based on primary and secondary characteristics. Selected individuals will be transplanted to the preservation field and stock as genetic resources of tea.

4．長野県下伊那郡における雑穀類と豆類の探索収集

天竜村，農家の庭先にて豆類の収集

上村にてアワの収集

5．沖縄県西表島におけるアズキ近縁野生種の探索収集

Vigna riukiuensis，中野バス停近くの荒地にて

星立近くの道路添いの林縁にて *V. reflexopilosa* の収集

6．西南暖地におけるダイアンサス属野生種の探索収集

ヒメハマナデシコ（*D. kiusianus*）の自生状況（鹿児島県川辺郡坊津町地内，沿海部砂礫地）

フジナデシコ（*D. japonicus*）の自生状況（宮崎県児湯郡高鍋町地内，沿海部礫地）

7．熊本県および宮崎県山間部におけるヤマチャの収集

五木村半瀬
山の急斜面に自生するヤマチャ
採集しているのは関谷室長

西米良村村所
しいたけ栽培をしている農家の裏山
竹林の中にもヤマチャが点在している。